

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

第13号

発行所

大阪府北区西天満4-6-3
ヴェール中之島北901号
薄木総合法律事務所内
津名高校同窓会阪神支部
TEL(06)6365-5512
FAX(06)6365-8241
印刷所: 共栄印刷株式会社

支部長挨拶



阪神支部支部長
薄木昌信
(高校七回生)

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
また、常日頃は、母校津名高校の発展のために同窓会に御尽力賜わり厚くお礼申し上げます。
さて、母校津名高校も新校舎完成に伴い、約三〇年間の念願であった同窓会館(エンジ会館)も完成し、この同窓会館を後輩達が部活動等に大いに活用しているという報告を学校長から聞き及び喜びにたえません。
ところで、今回の本支部報にて御案内してありますとおり、阪神支部では、本年九月二三日に開催される津名高校体育祭の見学と同窓会館の見学をかねて、

会長退任のあいさつとお礼



同窓会長
小久保 正雄
(高校四回生)

阪神支部の皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。
平素は同窓会への格別のご協力に感謝申し上げます。
支部におかれましては、薄木支部長を先頭にして、毎年の支部報発行に見られるように、その活動が益々活発化

し、発展ぶりに感じ入るばかりです。
さて、私は同窓会長として六期十二年間その任に就いてまいりましたが、本年八月の総会にて退任させていただくことになりました。在任中は、格別の厚情を賜りまことにありがた

と重ね、これからも是非とも継続させ、発展させたいものと考えております。
支部報発行に当たっては、毎回財政上の問題で苦慮しておりますが、会員相互間の親睦を図り、母校津名高校の現況を会員の皆さんに報告するためには欠かせないものと思っております。また、会員の皆さんから原稿掲載のお申し出をお待ちしております。

最後に、私が、我々の母校、津名高校の益々の発展を祈念しますとともに、次期会長の下、支部会員の皆様の協力をお願いいたします。同窓会・阪神支部共にその活動がいよいよ活発化されんことを心よりお祈り申し上げます。支部会員の皆様、長い間の御支援、御協力本当にありがとうございます。

支部の皆様には寄付、賛助金等をお願いをし、本当に多額のご援助をいただきました。社会状況の大変厳しい中で、皆様の同窓会へのご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。
最後に、私が、我々の母校、津名高校の益々の発展を祈念しますとともに、次期会長の下、支部会員の皆様の協力をお願いいたします。同窓会・阪神支部共にその活動がいよいよ活発化されんことを心よりお祈り申し上げます。支部会員の皆様、長い間の御支援、御協力本当にありがとうございます。

支部結成を回顧して



筆 谷 正
(支部顧問
(高校三回生))

阪神支部が誕生して、間もなく40年を迎えます。結成は、昭和47年7月23日であったと記憶しております。
当時、本部会長をつとめる三津啓祐君が、同窓会活動の発展に、努力しておられたにも拘らず、低迷している現況を苦慮し、中学以来、親しい同級生の間柄であった私に対して、多くの会員が居住し、且つ地域で活躍する会員を擁する阪神地区を、同窓会の発展のために、暖い御支援を賜わりますよう折念して私の御挨拶とさせていただきます。

私も予てより、地元会員からも、そのような期待があったことを承知していたし、私自身が、阪神間の中間に位置する西宮に在住するので、三津会長の意向を請け、早速その組織作りに着手しました。当時母校の先生方も、この旗上げに賛同、理解を示して下さい、共のたつての注文であった、卒業期ごと、在学中に活躍された先輩、後輩の同窓生の推せん、協力して下さいました。

支部の活動として、特筆すべきこととして、前支部長本田卓夫氏の永年の夢であった、同窓会館の建設があげられます。
以来今日まで、有能な役員が円滑、有効に引き継がれ、立派に運営されていることは、誠に喜ばしい限りです。役員の方々に對して、心より敬意を表する次第であります。

支部の活動として、特筆すべきこととして、前支部長本田卓夫氏の永年の夢であった、同窓会館の建設があげられます。
以来今日まで、有能な役員が円滑、有効に引き継がれ、立派に運営されていることは、誠に喜ばしい限りです。役員の方々に對して、心より敬意を表する次第であります。

この会館を、会員が気軽に利用され、更に母校の隆昌と会員相互の親和の充実、各位の繁栄のために役立てられることを、只々念じます。
同窓会活動を顧み、校友の縦の親睦関係が深まり、当然のことながら、地域的連携が強まったことは確実で、会館の建設も、その大きな証左であります。

向けて、後継者の育成、新しい世代の発掘、参加の呼び掛け、役員、会員の結束に一段の努力を払われ、本部、母校の発展に、中心的役割を果されるよう、大いに期待しております。

津名高等学校同窓会 阪神支部総会・懇親会ご案内

日時 平成20年8月24日(日)

午前10時30分～(受付10時より)

場所 JR三宮駅前

ホテル「神戸東急イン」3階

参加費 10,000円

Tel: 078-291-0109

津名高 ギター・マンドリンクラブのコンサートを同時開催

出席希望者は同封の返信用書葉でご連絡下さい。

※総会に参加されない方も、年会費二千元を是非お送り下さいますようお願い申し上げます。



白石商工会議所 副会頭
柴谷 榮一
(高七回生)
本木印刷株式会社
宮城県白石市沢端町二一三
TEL 〇二四二二六二六四〇
FAX 〇二四二二六二六六
Email: moki@poem.orc.ne.jp

尾崎 田鶴子
(高六回生)
〒565-0001 津市千里丘四一三三二七〇
TEL 〇六六三八九一四〇七〇

坂東 洋治
(高六回生)
〒651-1114 神戸市北区鈴蘭台西町五丁目番九号
TEL 〇七八一五九三二二四五二

立花 和也
江本 嘉代子
河合 春子
高校五回生有志

中川 勇
(高五回生)

栗井 節郎
(高五回生)
宣映(姫路・仙台東京小田原福岡)

筆谷 正
(高三回生)
(司法書士・行政書士)
事務所
〒682-0857 西宮市中前町一〇二五
TEL 〇七九八二三四七二六

兵庫県行政書士会連合会相談役
(社)大阪淡友会理事
西宮・スポケン姉妹都市協会副会長

『信じる力の強さ
～ 悲願達成～』

中川 勇
(元 三洋電機 勤務)
(高校五回生)

現在、私は長い会社勤務から離れた、自分の時間を謳歌している。そんな生活の中、古希を過ぎ73才を迎え、古希としての時、身の震える様な感動を味わった。

今年3月16日、快晴。春の暖かい日差しが降り注ぐ東京青山、秩父リッパビー場で、第45回ラグビーフットボール日本選手権大会の決勝戦が行われた。最高峰を目指すのは、三洋ワイルドナイツとサントリーサンゴリアス。前評判も高い、好敵手同士との戦いに見え勝利したのは、我が三洋！40対18で我々が三洋！容も堂々たるものだった。

日本一に輝いた瞬間、私はそこに居た、ノースサイドの笛と共に満員の観衆は総立ち。旗を高くと振りかざし、大声で覇者三洋ワイルドナイツの勇姿を称えた。白いジャージの選手は誇らしく拳をあげ、抱き合い、サポーターに溢れんばかりの笑顔と割れんばかりの雄叫びで、競技場は興奮の増場と化した。80分間全力で闘い抜いた両チームには、惜しみない拍手が贈られた。正面スタンド席で冷静を装いながら、固唾を飲まんで応援していた私も、極まっていた「ありがと

お！」と大声で叫びました。隣には様々な感情が入り混じった顔が、涙目の宮地克巳監督。二人は固く握手し、肩を抱き合い、上ずつた声で「長かった。当の当に長かった」と喜んだ。宮本監督は必死に死を抑え、監督アフロからグラウンドに降りて行く。あちこちから「おめでとう！」「よくやった」と声がかかった。私もグラウンドに降参した。その熱気の中で選手たちを労べた。

思い起こせば、三洋電機が群馬の東京三洋東日本社会人リーグで、常に優勝か準優勝の成績で毎年全国大会に出場し、優勝の呼び声が、高い中で、それを手中に収められなかった。万年準優勝、シルバメダル指定席などに、残念がるファン、会社、関係者も、「今年こそ」の名勝負を重ねながら夢を追い続けた。実に48年目で初めて手にした日本一である。

私が三洋ラグビー部部長を担当したのは二〇〇九七年から二〇一三年。全くのラグビー素人がフロントとして奮闘した。宮地監督に母国語の指揮を任せ、私らは人材の確保、インフ

整備、海外ほか、グラブ以外の重賞、ランドオフマンのニューリブランド代表トニー・ブラウン選手が活躍である。入社して3年、彼は完全な選手に仕上がった。「球のあるところ」に「球のあり」としてチームを牽引し、試合の主導権確保に重要な役割を果たした。15人のチーム力が強靱だからこそ、成せる技なのだろう。

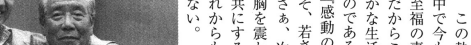
その夜、選手や関係者が、堂に会った。ベレーティーで再び喜びが込み上げてきた。優勝を称え合う全員の信頼関係が完成し、同、目標達成に着

整備、海外ほか、グラブ以外の重賞、ランドオフマンのニューリブランド代表トニー・ブラウン選手が活躍である。入社して3年、彼は完全な選手に仕上がった。「球のあるところ」に「球のあり」としてチームを牽引し、試合の主導権確保に重要な役割を果たした。15人のチーム力が強靱だからこそ、成せる技なのだろう。

その夜、選手や関係者が、堂に会った。ベレーティーで再び喜びが込み上げてきた。優勝を称え合う全員の信頼関係が完成し、同、目標達成に着



トニーブラウンと



トニー・ブラウンと

仙
台
1
9
7
7

矢野 靖

正月、仙台での初め神社 J R 仙台駅より仙石線で 30 分。海上安々と安産の神様。雪の積もった段一〇〇段を登ると二六〇余の鳥たちからなる松島が俯瞰出来る。その眺望は息を奪む。

東北随一の水量量を誇る魚市市場を観光船に乗り海上遊覧を楽しむ。約60分の所要時間を得て、雪の五大堂の海岸に到着する。四季折々の楽しみ方があるが冬の松島が一番には伊達政宗思う。

祈願寺「古利瑞厳寺」

海の中でも参詣する。大昔は海中であつたと思われがその岸壁が自然の彫刻を生み右手に見え15分程の参道は大勢の参拝人で賑わって居る。行楽地の食事は不味との評判を聞いて居たので、タクシーで松島の自然を活かした和風レストラン。田里津庵で昼食を取る。多少値段が張るが、松島湾で朝取れた小魚の会席料理は抜群に美味であつた。

正月三日は江戸時代物の初々と続く仙台名物の箱籠売りは全国的に有名で一等賞の景品はカラー TV 他家華商品が当たった。一番TV商店街の店主の心意気が窺える。私の母も近所のお年寄りにお茶会みに時々誘われる。手の甲に漬物を乗せお茶を呑みながら笑談し、時を過ぎる程だとなつかし

一月十五日大崎神社（拜殿は国宝）のなんとかなる年中行事の一つである。男は股引、腹には晒を着き白鉢巻、口には寒さを防ぐ為、半紙を銜えた裸姿、女は紙を銜えた裸姿、男と同様の出で立ちなるも町職を羽織るスタイル。町の自治会会長職場グループで講を組み鉦と鈴を鳴らし乍ら練り歩き奉納とお札を神社に奉納するとその姿は勇壮でも一度は参加したいと思ったが、その機会に恵まれなかつた。

四月三日旧田の雛祭りは私は實際は経験しなかったが、かなり派手に取り行う由、その証に隣り近所から頂く『ずしな餅』の味枝豆を擦込んだあんは忘れられない思い出である。

八月初旬の七夕祭は東北4大祭の一つであり、全国的にあまりにも有名で皆様もご存知の通り、省略するが花火の前夜祭は方々で花火の上のがのを眺めるだけでなく、会社の柏木寮の屋上で「当時暴発的に流行了った」あの佐藤幸三の青春城恋唄、広瀬川流るる岸辺、潮音ゆかい杜の都、思い出はかえらず

合唱生ズイルを今ヨツキで愉快した事」今まで鮮明に思い出します

九月の芋煮会も楽しい思い出の一つです。（本家は山形）大瀧川原で石を集め鍋で炊く小芋の味は忘れがた

は、井津雄が何れもお慕りした。私の課の家族会でも日暮れまでの大宴会をしました。

こゝで仙台の奥座敷數鶴毛湯を試験した。鶏毛湯があり、従次而私紹介しはサントリよりニッカポカリの方を好む。当時すでにタクリングリソと言ふホテルの立派なリゾートホテルが存在するも、私ホムレは古くから入る岩松旅人は古くから入り出張者は必らず推せん紹介者しました。

長い廊下、階段を下ろし、川底の露天風呂は秀逸。料理も地元で取れた山菜がMAINで東北に旅行した事を感へじさせられた。もう一地方の秋保温泉は今では台山市内に組み込まれた高級旅館に多いが当時私の足は向かなかった。

伊達62万石の豊かさ、お城裏の異民性を最後に宮城県におきます。

男性性「辛抱強く人あたりがある。のんびり屋で何事にも慎重で新しいことは苦手、その為、朝氣に欠けて見えぬ傾向があり、自分本位の考えを押し通す一面も。」

女性性「楽道家でおおらかな人が多く、細かいことにはこだわらない。男性に比べ明るく積極的。飲み会やカラオケなどでは思い切り盛れるタイプが多い。なぜか年をとるとほろ色つきたる傾向が。」

『プエル
リコ』は
どんな所

(高校十五回生)

今、編集委員会から、宅したところですが、速ペンを取つては構はしたが、なかなか構はが湧いて来な。半生は只々、それらをに力尽しておられる。後悔の念が過る。懸命、先輩諸兄への柁先諸語を「これ」先輩の言葉から「この言葉」埋めて視線が青中庭の鋭られ、沈黙に感ずる。首を一度三度傾け振返るが、悲しいかな、小生の筆では、一言書かず、お前、空気を読め！」と言われている感じがして、決て承服する。生唯一の海防動務先をエトリコに紹介し、紙面をエトリコに補つて頂きます。丁度百年代、當時は太田陽子、高田に、事業の展開を。米國外展開を。特關稅を。カリブ海に。かぶ常の島「フエネ」に決定。命に家族非常同意し年間海外生活を経験。ロドリダス南東に。エトリコに。豊かな美しい。独立して。意味しています。が、正式には「エトリコ」米國の連邦。面積は四の半分。人口が約一百万人。

中谷博文

(高七回生)

人強、冒部サンファンは、世界的な天然の良港で、貿易、リゾートの中心地でもあります。歴史的には、スペインに侵略され、一八九八年の米西戦争で米国領となる迄、スペインの統治が続き、公用語はスペイン語です。しかしこの良港を巡って再三、欧米諸国と戦争が起り、港の人口に、モロ城塞が今も堅固な姿を留め、オールドサンファン（旧市街地）の中世ヨーロッパ風の街並みと共に、観光スポットとなっております。特に近年、アメリカ、欧州の避寒地となり、カリブ海クルージングの基地として、脚光を浴びております。さて小学生、ブルトリコの想い出は、観光バスでの入国で五年間、毎年更新（毎一年のみ滞在の特

殊ビザを発行してもらった）で就労しております。残念ながらこのビザでは、米国、カナダ以外は旅行にも出られず、正式就労ビザを取らずに日本を出国した事を後悔し家族にも不憫な思いをさせました。しかし観光立国なので沢山リゾート地、島内での楽しみは満喫致しました。一月、二月の寒中に海水浴が出来、世界有数のドラードビーチや、世界一大きい天体望遠鏡のあるアンケボ、風光明媚なユナケの滝、近隣の島々では聖トマス、聖ジョージズ島でのバカンスは今も心の中に鮮明に浮かびます。あの二こ迄も続くクリンブルの海を求めて、近々、又、ブルトリコを訪問してみたいと願う今日、この頃です。

津名高校 七回生有志

中村 泰元

津名高校	七回生有志	中村 泰	元山 紀
高僧 隆明	明角 清重	岩田 富美子	北小路 和子
筆谷 幸子	湯谷 忠夫	片岡 昭子	岩木 邦安
南光 三雄	来田 澄子	板東 裕二	服部 美佐保
今田 博之	矢野 端	安田 さよ子	木村 多津子
井上 とみ子	奥田 泰久	山本 守	正本 君子
中原 堅司	小久保 秀子	青木 良正	角南 忠良
熊岡 秀也	山本 祐三	藤平 昌子	(順不同)

淡路市の人口動向について

淡路市長 門 康彦
(高校十五回生)

少子、高齢化が進む日本、淡路市も例外ではありません。淡路島が人口最高であった時と比較すると図1になります。

(図1)

(単位:人・%)

図1

淡路島

淡路市

洲本市

南あわじ市

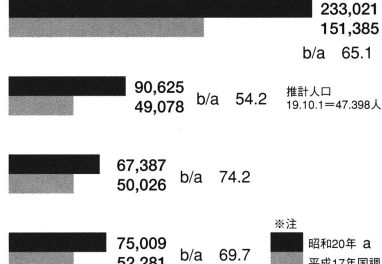
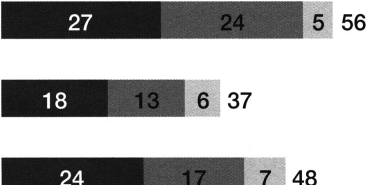
推計人口
19.10.1=47,398人※注 昭和20年 a
平成17年国調 b

図2

淡路市

洲本市

南あわじ市



■ 保育園等 ■ 小学校 ■ 中学校

第九期生 同窓会
卒業五十周年を記念して盛大に開催沖 正典
(高校九回生)

三月二十三日、明石海峡大橋の向こうに淡路島が見える舞子ヴィンヤードで、第九期生の同窓会を開催しました。お天気に恵まれ、1校当り107、4人、1学級当り15、3人と最下位です。

親の介護を妹に頼んでの出張、仕事があるので二次会は参加出来ないので、それぞれ旧友との東の間の語らひを楽しみに、何とか都合をつけて来たという方々。欠席者のほか、近況報告欄には、自らの病状、家族の介護が必要等、又、詩吟、大正琴など趣味の発表会や地元の世話役として、調整がつかない等々、理由が書かれてあります。



卒業以来、人それぞれに、山あり谷ありの人生を歩んできました。そして、やがて古希を迎えようとしています。朝に、賛美歌三十二番を歌い、夕べに、般若心経を唱え、神や仏にすがらなければ、いかんかという人々も、この世の中には、いろいろあります。しかし、今一度、自分に言い聞かせるために、サムエル・ウルマンの「青春」という詩の一部を、ここに記しておきたいと思ふ。『青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方である。...年を重ねただけで人は老いない。理想を失うと...はじめて老いる。...頭を高く上げ希望の波をとらえるかぎり、八十歳であろうと人は青春の中にいる。』

今回は、概ね二年先に、大阪にての開催が予定されております。今回出席の方々は勿論、止むなく出席出来なかった方々も、共に、力を合わせて、青春の輪をつくり、その輪を広げて行こうではありませんか！

恩師をお招きして、夜の更けるのを忘れ、楽しく、懐かし語り合ひ、杯をあげ、歌に興じました。まさに、青春のひとときを、生涯の宝物として生きて行ける喜びをあらためてかみしめているところです。

私の職場

祈りの聖地・興福寺

松野聡子
(高校十五回生)

行基菩薩の前を通り、さまざまな坂を、行くところにはもう奈良公園に入る。眩しい光の中、数頭の鹿がゆつたりと草を噛んでいる。どこからか小鹿が走って来る様子も、もう慣れた光景になり、気持ちよく歩ける。坂を登ると県庁が見え、右に曲がると、「塔の茶屋」「柳茶屋」と向かい合っ、観光客の特に女性にとって人気のスポットに出る。その新緑の向こうに、朝陽を受けて、凛とした五重の塔姿がそびえ、そのまま天空に突き進んだ水輪は、古都奈良

の風を運んで、息を止めている。左に曲がり黒い大きな門扉を押し開けて入り、都の八重桜と樹令の年のさるすべりとの間をくぐると、「野」に到着。ここが私の仕事場！修業生のお世話をして、住のお話を聞いて、美味に感じながら、その時折の法要(会)にあり長い歴史の出来事を知り、今も見続けていて、語りたくなる。僧侶は寺に来ると、素足で過ごします。夏の冬は、特に冷え、真つ赤になつて痛々しいで

と頑張っておられ、やけ・赤ざれもひどいので、そとめり薬を出して下さいます。食事は精進が基本で午後からは食さないといわれています。昼食は、寺に仕事する人達も精進です。寺では、多分から産物や、米、酒等半端な量ではなく、この裏方に四季を感じながら、美味に感じながら、その時折の法要(会)にあり長い歴史の出来事を知り、今も見続けていて、語りたくなる。僧侶は寺に来ると、素足で過ごします。夏の冬は、特に冷え、真つ赤になつて痛々しいで

くどく先輩僧と問答の練習をしてたりと多様です。又、その時折の装束もそれは美しいものです。古代紫を主として、赤や金の法衣は見えて、赤や金の法衣は、黒の法衣は、日々のお姿だからよい神々しさを感じています。世界遺産と言ふ素晴らしい自然の中にいて、心が養われ、心が潤ってゆく。物を大切にしている、ほんとうの心が育つ、ほんとうの心があります。心、心と言ふの、嫌でも手回しマを掛けてほしい。私達には「心の時代」と言いつつ、一方でひたすら利便や効率の良さを求めて、手間をばかろうとしている。使い捨ての矛盾の中を平然と行かないでと私は祈る気持ちです。

株式会社 田中不動産
代表取締役 田中 種義
(高十三回生)
〒590-0081 高槻市宮野町二番十六号
TEL 072-717-5193 FAX 072-717-5193

津名いちさん会(ゴルフ同好会)
高校十三回卒

石上 勝美 五熊 詔一
上宮 峯男 柏谷邦江(旧姓瀬合)
木村 稔 柴谷 英一
曾山 栄 高田 英憲
中來田吉紀 福本 昌司
藤田 克己 藤本 勝
堀 和明 松本 英志
薬田昭代(旧姓柳原) ※五十音順

岩井 吉人
(高十二回生)
〒650-0034 神戸市垂水区仲田二丁目一三三
TEL FAX 077-708-1669村上 昇
(高十回生)
〒660-0011 兵庫県西宮市美園町7-14
TEL 077-727-5971 FAX 077-727-5971柴生 進
(高十回生)
〒650-0011 兵庫県西宮市美園町7-14
TEL 077-727-5971 FAX 077-727-5971オキヤ務経営事務所
社会保険労務士 沖 正典
(高九回生)
〒650-0011 神戸市垂水区上高丸丁二丁目二四〇五
TEL FAX 077-708-1669室と花琳
株式会社 薫寿堂
代表取締役 福永 裕
(高八回生)
本社 〒650-0011 兵庫県西宮市美園町二丁目二四〇五
TEL 077-727-5971 FAX 077-727-5971神戸アマチュア歌謡連本部理事 歌謡チー「心内」
宮岡 郁雄
(高七回生)
事務所 神戸市兵庫区羽板通四丁目二二七
TEL 077-717-5193 FAX 077-717-5193
自宅 明石市朝霧北町一丁目一五〇
TEL 077-717-5193 FAX 077-717-5193

津名高等学校同窓会阪神支部 収支決算書(案)

自 平成19年1月1日
至 平成20年6月10日

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	金 額	備 考	金 額
前期繰越金	3,123,635	普通預金(三井住友銀行西宮支店)	921,267
		郵便振替口座	2,191,467
		手持現金	10,901
賛助広告費	495,000	20年度第13号60名	
会 費	4,000	20年度会員2名	
賛助広告費	490,000	19年度第12号60名	
会 費	695,000	19年度会員327名	
利 息	1,742		
合 計	4,809,377		

支 出 の 部			
科 目	金 額	備 考	金 額
通 信 費	34,585	案内用切手代・郵便代・振込料	
会 議 費	21,150	役員会・新聞発行編集委員会会場	
印 刷 費	19,340	郵便振替用紙代	
印 刷 費	745,115	支部報6000部印刷費及び発送費	
印 刷 費	23,730	案内用ハガキ代	
印 刷 費	35,736	タックラベル(新聞12号宛名書き)	
交 際 費	15,000	本田氏供花代	
小 計	894,656		
次期繰越金	3,914,721	普通預金(三井住友銀行西宮支店)	822,883
		郵便振替口座	3,086,252
		手持現金	5,586
合 計	4,809,377		

会計監査報告

会計監査の結果、諸帳簿ならびに証憑書類、通帳などは適正に処理されていることを確認しました。 平成20年6月30日 会計監査委員 花野正悦
山本和寛平成20年・21年度兵庫県立津名高等学校
同窓会阪神支部役員(案)

氏 名		氏 名	
顧問	高校3 筆谷正也 高校5 立花和也 高校7 薄木昌信	監事	高校8 後藤拓代 9 平岡英忠 9 桃井美智子
支部長	高校13 小久保澄夫		9 上雅子 10 道下賀子 11 浜野長文 11 山崎義雄 13 北野佳代子 13 石勝美代子 13 石瀬資子 13 池本和子 13 桜房子 13 薬田昭代子 14 桑名賀代子 15 門康彦 15 佐藤正文 15 北田映代子 15 上川孝文 15 砂川雅文 16 東山俊子 16 岩中俊博 16 岩中晴繁 17 中田承示 18 柳岡実季子 18 杉岡章次 19 田井地力 19 高田穂 20 今岡ひとみ 20 村下正雄 21 木口弘子 21 橋口芳子 21 辻野由里子 21 梶島敬博 23 奥田正博 23 池田幸三 27 藤森泰宏
支部長代行	高校7 宮岡郁雄		
副支部長	高校9 沖正典 高校10 柴生進 高校12 岩井吉人 高校13 五熊詔一 高校13 田中種義 高校14 南正光 高校15 中野淑郎 高校27 藤木啓彰		
会 計	高校14 南正光		
会計監事	高校19 花野正悦 高校19 山本和寛		
監 事	高校3 小山好子 3 森口文彦 4 中須賀允彦 4 矢野靖子 4 石戸泰子 4 中村貞子 5 江本嘉代子 5 河合春子 6 坂東章好 6 太田均 6 坂東洋治 6 保宗幸夫 6 尾崎田鶴子 6 森多貴美子 6 石原富子 6 古土井佳子 7 中谷博文 7 明角清重 7 矢野清端 7 南光三雄 7 橋形月代 7 木村多津子 7 北小路和子 8 平松忠		

(以上 78名 平成20年6月14日現在 平成20年8月24日開催の阪神支部総会にて選出議決の予定)

阪神支部会費納入について

(年額2,000円、平成20年度分)

大ピンチです!! 当支部年会費のお願い

阪神支部では、年に1回支部報を発行し、今回で第13号目の支部報を発行しました。

この発行に際しましては、全会員に対する郵送料を含め1回につき約900,000円の費用が必要です。ところが、会員の皆さん方から納入して頂いております年会費の総合計額は、平成19年度で金695,000円です。(阪神支部の会員数は約4,800名のところ、平成19年度は約7パーセントに相当する327名の方のみ支払われています。)

そのため、支部報を発行する度に数十名の方から賛助広告を頂いて何とか発行にこぎつけているのが現状で、このままでは今後年に1回発行していくことが極めて厳しい状況です。

しかし、会員の皆さん方に母校の現状をお知らせし、母校と会員の連絡を保つためにはこの支部報が唯一の手段ですので、何としてもこの支部報の発行は今後とも続けて行きたいと考えています。

つきましては、1年間に1回2,000円の会費ですので、1人でも多くの阪神支部の会員の皆さん方におかれまして支払って下さいますよう、伏してお願い申し上げます。

本支部報に同封しております「払込取扱票」又は銀行振込により納入して下さいますよう重ねてお願いします。

◎郵便振替口座

口座番号 00980-7-184478

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

◎銀行振込ご利用の場合

銀行支店名 三井住友銀行池田支店

口座番号 普通預金 7169843

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

税理士

花野正悦

〒650-0044
神戸市兵庫区塚本通七丁目一十五番八
TEL 〇七九八二五七二
FAX 〇七九八二五七二
(高十九回生)東田雅俊
(高十六回生)医療法人社団 高山会 高山クリニック
理事長 高山秀則
卒業生十一名在職
〒650-0044
淡路市志筑新島六丁目一三六六
TEL 〇七九八二五七二
FAX 〇七九八二五七二中野淑郎
(高十五回生)

校長

濱口栄

〒650-0044
神戸市兵庫区塚本通七丁目一十五番八
TEL 〇七九八二五七二
FAX 〇七九八二五七二
(高二十一回生)

学校法人

近畿測量専門学校

〒650-0044
大阪市東住吉区矢田一丁目五番九号
TEL 〇一一〇(一四)五五五〇
http://www.kinsoku.ac.jp

学校法人

日本写真映像専門学校

〒650-0044
大阪市東住吉区矢田一丁目五番九号
TEL 〇一一〇(〇〇〇)五五八
http://www.shisen.ac.com大切な人のものしものときに
(株)片山葬祭
片山 悟 (高二十九回生)〒650-0044
兵庫県淡路市黒谷一四八二番地
TEL 〇七九八二五七二
FAX 〇七九八二五七二

FJK法律事務所

弁護士 藤木啓彰

(高二十七回生)
事務所 〒650-0044
大阪市中央区北浜三丁目一
TEL 〇六(六)六〇六六
FAX 〇六(六)六〇六六
Email info@fjk-law.com
http://www.fjk-law.com

石原裕次郎さんの想い出

栗井節郎

(高校五回生)

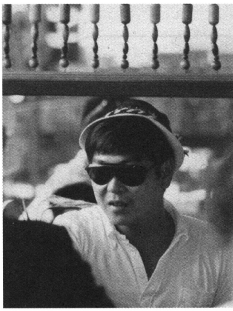
映画界が最盛期の頃(昭和三十三年頃)、週刊興行速報という情報新聞を、全国の興行会社並びに映画館に配信



日活宣伝部の千葉氏と須磨浦公園にて

しておりました。その頃、日活映画本社宣伝部に、私が出入りしてました当時、親しくおつき合をしていた千葉さんという部長さん、今度、蔵原監督の映画で、石原裕次郎さん浅丘リ子さん主演で、憎いあんちくしょう、という映画のロケーションが、関西方面であります、来ないか、と連絡を頂き、早速、愛車黒のセドリックで出かけまし

御両人が、東京から



須磨浦公園茶店にて 裕次郎

九州までジープを運ぶと言う活劇アクション映画でした。

奈良公園、旧国鉄大阪駅前、須磨海岸、そして明石のフェリーのりば、今の明石屋の前、岩屋行の明淡高速船のりばが、当時フェリーの、乗船口であった。裕次郎さんが急いで、ジープでフェリーに、乗り込むシーンなどでした。須磨公園から明石港まで、当時のサンケイスポーツ、大阪スポーツの芸能記者さん明石港まで、セドリックに同乗させてという事で、楽しく、須磨から塩屋、垂水、舞子海岸を、ロケ隊について明石港まで走ったのでした。

一九八七年裕次郎さんの没後、早二〇年昭和最大のヒーロー、鮮烈な数々の映画と名曲、大女優美空ひばりとの、すざましい生涯が、なつかしく思い出されます。

明石港近くの木町通りに、本町日活と言う、柏木興行経営の映画館があります。恒元支配人と言う方がおられ、



市川昭介氏と

鳥飼八幡宮にて

鳥飼八幡宮にて大滝秀治氏と

明石フェリーのりばにて

旧国鉄大阪駅前にて

奈良公園にて

二代目裕次郎と、さわがれたスター、渡哲也さんの主演映画が、クラシックアップされると、全国トップ封切館より、一週間早く本町日活では、特別に全国トップ封切、上映され、対岸の岩屋に当時住んでおられた、御両親を招き、映画を上映された。あの思い出が、今も胸に響いてくる。裕次郎さん、やさしかった。恒元支配人も今は亡く、誠に淋しい限りです。又五色町鳥飼、鳥飼八幡宮の裏に、鳥飼駐在所があり、住んでおられた、深田巡査の御息、深田公之氏、後の大伴詞家阿久悠氏も、突然亡くなりました。自伝映画と評判だった、瀬戸内少年野球団が製作された。阿久さん、住みから小さな川を渡って一〇〇米程の所に、私の里稲屋栗井の家があり、夏目雅子さんが出演され、役名、登場人物が、稲屋の話しに、誠によく似ていた事も、今はなつかしく、阿久悠氏と音楽仲間、畠山みどり、都はるみ、など先り出した。演歌の作曲家、親友の市川昭介氏も胃腸の手術されてまもなく亡くなり、昭和最大の歌姫美空ひばりなど、次々と、此の世から去ってしまっ

合掌

津名いちさん会

五熊詔一

(高校十三回生)

青空の下、緑一色の芝生の上で白球を打つ醍醐味、ゴルフをする人の最高の楽しみですね。まして一緒にプレーする仲間が同級生であれば、これに勝る者は無いでしょう。

トリーで誰か言い出したか「一つ会を作つては」即決で誕生したのが「津名いちさん会」でした。上手な人、それなりの人、お互い「おい、お前」で誰に遠慮することなく最高のパートナーとラウンド

出来る機会が生まれて既に四回のコンペを数ええました。三、四ヶ月毎に開催し、場所も関西のゴルフ銀座と言われている「吉川近辺」を中心に実施しております。橋のお陰でコースに行くのに京阪神にお住まいの方より淡路の方が早く到着出来るのも大きな時代の流れを感じます。又お盆には淡路の会員の配慮で迎え盆や、お墓参りを兼ねて帰省して淡路カントリーで開催しております。現在会員は同級生のみで十

五名(内女性会員三名)です。ぜひ十三回卒業生でゴルフをされる方は何方でも結構です、参加をお待ちしております。故郷の新しい話題にふれたり、お互いが元気を貰い、明日への活力にしてお返しを思い切り満喫しております。同じ様に活動されておられる卒業生の皆さん一度チーム対抗戦をしてみませんか？つと夢のようなゴルフが楽しめるのではないのでしょうか？

津名高教諭『淡路弁徒然草』を出版

津名高教諭

阪神支部会員の皆様に津名高、岩本教諭が、このたび出版した淡路弁(主として旧東浦町の方言による)により、解説した『淡路弁徒然草』を、懐かしい、ふるさとの言葉(方言)を思い出していただきたく、一部(抜粋)ですが、紹介いたします。尚、購入を希望される方は、津名高校(〇七九一六二〇七)又はジュンク堂三宮書店で。

情願提供 阪神支部編集委員

著者 岩口善兵衛

兼好法師にあこがれて北淡路の山中に庵居する、と発行者によって想定された架空の人物で、著者と発行者は同一人物である。

発行者 岩本 孝之
(津名高17回生)

A5判 147ページ
1,300部



口語訳 これいうてすることもあれへんし、ひがな一日親に向こうて、心に次々映るしやうもない(つまらないことを、あれこれ書いていっついたら、なんや気狂いそうになつてつてウ。語釈 ○つづねなる...これといつてすることがない状態。○日くらし...一日中。○よしなしく...つまらないこと。○とめのないこと。○そこはかとなく...どこかどうということもななく。○あやしうこそ...変に。○ものぐるほしけれ...狂おしい気がするよ。善(善兵衛)の解説。以下同じ)目的や形式やいう制約もなしに、自由気ままに書く。随筆の本質を示さず文章やな。ものにとられへんさかいに、目が冴えが冴える。そんな心で世の中見ようたら、気もおかしなやうなア(なるやなかいのウ。わしらは目が見えへんで(いうたら、もののがわからんので、幸せに生きるとちやうやらか。

第14回卒業生同窓会開催のご案内

卒業してから45周年の年を節目に

第14回卒業生(1963年昭和38年(卒業)は、早いもので卒業後今年で45周年を迎えました。

振り返つてみれば、高校卒業当時は、高度成長期のスタートラインにあり、その後東京オリンピック、大阪万博の開催とモータリゼーションの時代、さらにはバブル期そしてバブル崩壊、阪神淡路大震災の発生と良きことも、悪きこともさまざまなるを経験した45周年でありました。気がつけば、還暦も過ぎ加齢も肉体的に感じる年齢となりまして、心の若さを取り戻すためにも、高校時代の3年間の楽しかったこと、苦しかったこと、青春時代の忘れられないあの時を、同窓生で楽しく語り合おうではありませんか。皆様お誘い合わせてのご参加を楽しみにしております。

日時 2008年(平成20年)11月9日(日) 午後12時より
場所 シーサイドホテル舞子ヴィラ神戸
神戸市垂水区舞子町19-11
TEL 〇七八七(一六)三七一
会費 一三,〇〇〇円
【案内の発送】 下旬に、「開催のご案内」を各同窓生宛に送付いたします。
同窓会開催準備委員会代表
〒563-1002 9
池田市五月丘3-1-14
TEL 〇七二(七五)二一四五八
メール baramasa.376@pcnmail.com

七期同窓会開催のご案内

二年毎に行われている定期同窓会を左記の通り開催いたしますのでおさし合せの上ご参加をいただきます。ご案内致します。

日時 平成二〇年八月二十四日(日)
午後二時受付〜六時
場所 パレス神戸
神戸市中央区下山手通5-1-16
TEL 〇七八七(三七)七八〇〇
六〇〇〇円
会費 世話役代表 宮岡郁雄
TEL 〇七八七(九四)〇四二七

母 校 だ よ り

高 校 総 体

◎ソフトテニス部

【男子団体】

一回戦 津名2-1高砂南
二回戦 津名2-0尼崎福園
三回戦 津名0-2神戸科技校
ベスト8近畿大会出場

【男子個人】

一回戦敗退 福岡・酒井 林・平川 南・小川
一回戦 中尾・近藤4-1白石・園部(姫路工)
二回戦 中尾・近藤4-1川崎・杉本(神戸科技)
三回戦 中尾・近藤4-2板倉・笠谷(北摂三田)
四回戦 中尾・近藤1-4久永・奈良(市尼崎)
中尾・近藤組 近畿大会出場

【女子個人】

一回戦敗退 和田・濱田 岡・米田

◎卓球

【男子団体】

一回戦 津名0-3社
【シングルス】
一回戦 荻田0-3東播磨高

◎ソフトボール

二回戦 津名1-8親和

◎陸上競技

3000MSC(決)
9分41秒89 13位 石上

◎サッカー

二回戦 津名0-4市西宮

◎男子バスケットボール

一回戦 津名82-87豊岡総合

◎女子バスケットボール

一回戦 津名90-62須磨友が丘
二回戦 津名116-51鈴蘭台西
三回戦 津名87-57県尼崎
四回戦 津名66-58伊丹北
五回戦 津名53-97夙川
(ベスト16)

◎男子バレーボール

一回戦 津名2-1川西緑台
二回戦 津名2-1豊岡総合
三回戦 津名2-0姫路東
四回戦 津名0-2神戸弘陵
(ベスト16) 近畿大会出場

◎女子バレーボール

二回戦 津名2-0伊川谷
三回戦 津名2-0北須磨
四回戦 津名1-2市神港
(ベスト32)

◎柔道

【男子団体】

一回戦 津名0-5滝川
【男女個人】
一、二回戦敗退

◎剣道

【男子団体】

二回戦 津名1-3加古川東
【男子個人】
一回戦敗退 寺西

一回戦 永安1-0生野高
二回戦 永安0-2育英高

【女子団体】

一回戦 津名2-1市尼崎
二回戦 津名0-4相生産

【女子個人】

一回戦敗退 富永
二回戦敗退 葉坂

部 活 動 報 告 平成19年7月～12月

体 育 部 (県大会以上のみ)

▼男子バレー

近畿大会

二回戦 津名0-2花園

▼バレーボール女子

県新人大会

二回戦 津名0-2明石清水

▼バスケットボール女子

選抜優勝大会(県)

二回戦 津名66-75六甲アイランド

▼ソフトテニス男子

近畿大会

団体戦

一回戦 津名1-2香里丘(大阪)

個人戦

一回戦 中尾・近藤3-4田中・木下(和歌山北)

ソフトテニス中央決勝大会

団体戦

一回戦 津名2-1高砂南

二回戦 津名2-0尼崎福園

三回戦 津名0-2神戸科技

▼ソフトテニス女子

県民大会少年の部

一回戦 高瀬・山上4-2佐藤・西村(芦屋大附)

一回戦 毛笠・青木4-1高松・井谷(川西北陵)

二回戦 高瀬・山上0-4前田・森本(篠山産業)

二回戦 毛笠・青木3-4大井・別府(神院大附)

二回戦 和田・米田2-4天野・清川(明石南)

県新人中央大会

個人戦

一回戦 毛笠・米田3-4金森・東修(六甲アイランド)

一回戦 高瀬・藤本3-4山本・竹中(雲雀丘)

一回戦 和田・青木3-4飛鳥・井上(三木)

団体戦

一回戦 津名1-2社

▼卓球男子

県新人大会

団体

一回戦 津名0-3豊岡

ダブルス

二回戦 富本・合田組2-3社

▼剣道男子

県新人大会

団体戦

一回戦 津名1-2姫路

県優勝大会

団体戦

一回戦 津名1-2川西北陵

▼剣道女子

県新人大会

団体戦

一回戦 津名4-1西宮東

二回戦 津名0-2高砂

個人戦

一回戦 津名0-1霍雀丘

県優勝大会

団体戦

一回戦 津名2-2啓明

本数負け

▼水泳男子

県高校ジュニア選手権大会

2年女子

100m背泳ぎ 岡 弘恵
決勝 県8位 1分18秒76

1年男子

100m自由形 増成隆明

県19位 1分1秒27

▼陸上競技男子

県選手権大会

1年男子

5000m決勝 濱崎良輔

16分51秒51 14位

3000mS決勝 濱崎良輔

10分21秒72 11位

2年男子

100m決勝 岡田裕幸

11秒8 16位

800m準決勝 勘田大統

2分03秒47 11位

4×100m準決勝 仲野・岡田・登・北畑

44秒67 10位

県駅伝競走大会

28位 2時間22分45秒

▼陸上競技女子

県選手権大会

1年女子

100m決勝 海川 和

12秒97 2位

100m準決勝 小溝那水

13秒57 12位

200m決勝 海川 和

27秒04 4位

4×100m準決勝 小溝・谷・濱田・海川

54秒65 12位

2年女子

砲丸投げ決勝 繁田亜里沙

8m10 15位

近畿選手権大会

1年女子

100m 海川 和

13秒02

▼柔道男子

県新人大会

土井 負-勝 山田(舞子)

藤阪 勝-負 井田(神港学園)

藤阪 負-勝 藪田(報徳)

▼柔道女子

県新人大会

一回戦 池田 勝-負 森(松陽)

二回戦 池田 負-勝 別所(山崎)

▼サッカー男子

県選手権大会

津名0-2長田

▼ソフトボール

県新人大会

一回戦 津名0-7東播磨

県民体育大会

B組リーグ戦

津名5-5市立尼崎

津名5-4山崎

津名10-0明石

津名9-0夢野台

3勝0敗1分失点率により

B組2位 全体ベスト16

文 化 部

▼放送部

第54回NHK杯全国高校放送コンテスト

6月3日

ラジオドキュメント部門(兵庫県地区予選)「淡路弁だ」入賞

6月17日

ラジオドキュメント部門(兵庫県決勝)「淡路弁だ」第6位

7月26日

ラジオドキュメント部門(全国予選)「淡路弁だ」入賞

第31回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門大会

11月11日

テレビ番組小部門「伝えたいこと」金賞

ラジオドキュメント小部門

「津名郷・つなごう」銅賞

11月3日

ラジオドキュメント小部門

「津名郷・つなごう」入選

▼吹奏楽部

第54回兵庫県吹奏楽コンクール淡路地区大会

7月29日 淡路しづかホール

高校A 金賞(淡路地区代表)

第54回全日本吹奏楽コンクール兵庫県大会

8月9日 尼崎文化センター

高校A 銅賞

▼ギターマンドリン部

第37回全国高校ギターマンドリンフェスティバル

(朝日新聞・社団法人 全国高等学校ギターマンドリン音楽振興会 主催)

7月28日(土)29日(日)

大阪府立青少年会館文化ホール

優秀賞及び大阪市長賞 受賞

第31回兵庫県高等学校ギターマンドリンフェスティバル

(兵庫県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門 主催)

11月10日(土)

伊丹市文化会館、いたみホール

連盟奨励賞受賞

第38回全国高校ギターマンドリンフェスティバルへの出場を推薦

▼写真部

第31回兵庫県高等学校総合文化祭写真部門淡路支部予選

特選 「空の幾何学模様」

2年 大下 千尋

▼書道部

平成19年度 高野山競書大会

推薦賞 3年 浜野由紀子

特選 2年 藤本 理沙

準特選 3年 溝下 美香

3年 谷山ふさ好

金賞 3年 皿袋 智子

3年 中西 佑奈

2年 堀 有希

第6回岐阜女子大学全国書道展

奨励賞 3年 溝下 美香

優秀賞 3年 浜野由紀子

3年 中西 佑奈

2年 藤本 理沙

2年 新田 葉波

第22回武庫川女子大学全国書道展

佳作 2年 河野 美和

第53回日本書展

準特選 2年 福島 芳恵

第31回兵庫県高等学校総合文化祭書道部門

特選 2年 藤本 理沙

※(一)は卒業生です。
中野 淑子(15)
北川 淑子(15)
南 正光(14)
田中 種義(13)
小久保 澄夫(13)
五 雅 一(13)
岩井 吉人(12)
矢野 三雄(7)
光 幸子(7)
筆谷 幸子(7)
薄木 昌信(7)
宮岡 郁雄(7)
編集委員 (田中 記)

本号も、はや十三号の
回を重ねる事となりま
した。母校も番匠が丘
の地に移転し、同窓会
館「エンジ会館」も無
事完成して、津名高の
後輩達に有意義に使わ
れています。
行く川の水は絶えず
して、然も元の水に在
らず。故郷淡路島の
津名高も堅実な足跡を
歴史に刻んでいます。
さて去る二月、信州
白馬村での事、八方尾
根のスキー宿で同宿と
なった若者四人と色々
雑談をしていた時、ふ
と話が各々の出身地
の事と及んで、西宮、久
留米、茨木、草津から
やって来た立命館大の
経営学部の男女四人ダ
ループ。当方が大阪高
槻から来たが、生まれ
は淡路島だと言えは
「淡路の何処ですか」と
聞かれた。何と、西宮
のK君のご両親は旧津
名高卒業生。本当に
津名高卒業生。津名
世間は狭いものと実感
した次第である。なお、
いっそう田舎の話に
花が咲いたのはもちろ
んである。阪神支部の
皆様も是非一度、津名
高、そして淡路島の話
を広めて頂けたらと願っ
ております。

編集後記